

大自然の凱歌 (1936)

COME AND GET IT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1938/05
公開情報 劇場公開

【解説】

E・ファーバー原作の大作ロマンで、ノース・ウィスコンシンの大森林で伐採業で名を成した男が、愛する女を捨て、己の野心に忠実に製紙業者の婿となって成功するが、やがて彼女が親友と結婚して産んだ娘を愛するようになるーというお話。演出を、ホークスが途中降板してワイラーと替わったことで知られる作品だが、両者の個性の違いが如実に分かって面白い。圧巻なのは前段の、氷結した川に発破をかけ木を流すロケ撮影と、ヒロインの酒場の歌手ロッタが主人公バーニイ（E・アーノルド）を騙そうと近づいて遂にその侠気にほだされ、酒場の主を裏切り、彼と親友スワン（ブレナン）に混じって大立ち回りを演じる部分。これはもうホークスの力業だとはっきり知れる。が、以降、主人公が成功を収めて、久しぶりに古巣に帰り、美しく成長したスワンと今は亡きロッタの愛娘エビーに出会って老いらくの恋に溺れる展開は、ワイラーらしい都会の上流生活の点描に見どころがないわけではないが、俄然調子が落ちる。一人二役のファーマーも、あだっぼい酒場女のロッタ役は大変魅力的だが、エビー役となると色気が強すぎて、清純な娘がつい大人をからかってしまうというニュアンスが出ず、まるで毒婦に見える（伝記映画「女優フランシス」でジェシカ・ラングが彼女を演じたが、確かにタイプの的にそっくり）。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler
	ハワード・ホークス	Howard Hawks
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	エドナ・ファーバー	Edna Ferber
脚本	ジュールス・ファースマン	Jules Furthman
	ジェーン・マーフィン	Jane Murfin
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
	ルドルフ・マテ	Rudolph Mate
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	エドワード・アーノルド	Edward Arnold
	ウォルター・ブレナン	Walter Brennan
	ジョエル・マクリー	Joel McCrea
	フランシス・ファーマー	Frances Farmer
	アンドレア・リーズ	Andrea Leeds
	フランク・シールズ	Frank Shields